

平成26年度 柏崎市刈羽郡 学校教育研究会科学教育研究部 活動報告

副部長 小池 司

1 研究活動の方針

- (1) 自然にはたらきかけ、自然から学び、自然を愛する児童・生徒の育成を目指し、教育センター科学技術教育班の事業に積極的に参加するとともに、自己の研鑽に努める。
(各会員は率先して科学の祭典、研修会・観察会に参加する)
- (2) 授業の改善を図るため、会員相互の連携を密にし、実践を通じた研修活動を推進するとともに、会員個々の研修結果を相互に交換することを積極的に進める。

2 主な実施事項および研修の内容

- (1) 柏崎市教育センター科学技術教育班との共催事業
 - ①第49回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会
◇とき 10月8日(水)
◇ところ 柏崎市教育センター
◇発表数 小学校中学年16 高学年23 中学校5 参加児童生徒47名
 - ②第49回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展
◇とき 9月13日(土)～9月24日(水) 審査会9月12日(金)
◇ところ 柏崎市立博物館
◇出品数 142点(うち県の大会へ11点出品) ◇来場者数 2,471名
 - ③小中合同野外研修会(上越科学技術教育研究会事業)
◇とき 8月3日(日)～8月4日(月)
◇ところ 志賀高原方面
◇参加者 29名 ◇内容 高山植物の観察等
 - ④青少年のための科学の祭典2014 柏崎刈羽大会
◇とき 6月21日(土) 来場者数 約2,100名
11月15日(土) 来場者数 約1,500名
◇ところ 新潟工科大学
 - ⑤理科師範授業・講演会(第27回教職員理科研究発表会と同日開催)
◇内容 筑波大学附属小 佐々木昭弘教官による6年生の師範授業と講演
◇参加者 78名
- (2) 第27回教職員理科研究発表会
◇とき 1月9日(金)
◇ところ 柏崎市立比角小学校
◇内容 8名の会員による実践発表 ◇参加者 38名
- (3) 研究収録の発行
『現場が生んだ理科指導の工夫』第43号の発行
授業実践・教材研究・理科指導のポイントやアイデア等について、会員からの寄稿を製本して発行した。

3 反省と次年度への課題

- 児童生徒及び教職員が自然の事象に触れるためにも、科学作品展と科学研究発表会への積極的な取組を期待したい。
- 教育センターとの共催事業および研修は内容も充実し、会員に好評であった。